

## ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、2022年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、<なかしん>に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

さて、昨年度を振り返りますと、度重なる新型コロナウイルス感染拡大が社会経済に大きな影響を与え、当金庫でも感染予防を続ける中ではありましたが、感染力が強く役職員に多くの罹患者や濃厚接触者を出し、厳しい業務運営を余儀なくされました。また、ロシアによるウクライナ侵攻が世界中に衝撃を与え、経済活動にも大きく影響し、資源価格の上昇が、コロナ禍を起因とした世界的なインフレに更に追い打ちをかけました。金融業界では、欧米の中央銀行が利上げを進める中において、年度末に金融機関の破綻により不安が広がりました。国内では日本銀行が経済活動の正常化を優先し、異次元の金融緩和策を維持し、厳しい金融環境が続きました。

このような環境下ではありましたが、当金庫はおかげさまで皆さまから変らぬご支援を賜り、当期純利益1,097百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は26.38%、自己資本額も578億円となりました。引き続きご安心いただけるものと思います。

2023年度は新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、社会生活や経済活動も回復に向かって進んでいく兆しが見えてきました。一方、ロシアの動向や物価高・資源高による不安も継続しています。依然として厳しい経営環境が続くと思われませんが、地域やお客様の課題解決を通じて持続可能性の向上に貢献するとともに、当金庫自身も高い健全性を維持しつつ、さらに経営力の強化を進めて参ります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

2023年7月



理事長 足立厚郎

# あなたとまちと フェイス to フェイス

